

# 平成29年度事業計画

## I. 一般情勢及び課題

わが国経済は、アベノミクスの推進により、マクロでは緩やかな回復を続けているものの、潜在成長率が低位に推移する下で、その回復力は力強さを欠いており、企業等の景況感も地域や規模によりばらつきが見られている。

特に地域経済は、高齢化や人口減少、空洞化といった構造的な課題を抱え、その担い手である中小企業の多くは、慢性的な人手不足に加え、為替変動に伴う生産コスト等の調整を強いられるなど、厳しい経営を余儀なくされている。

政府は、昨年8月に、「未来への投資を実現する経済対策」を閣議決定し、当面の需要喚起に加え、民需主導の持続的な経済成長と1億総活躍社会の着実な実現につながる施策を実施することとした。

一方、金融面をみると、マイナス金利政策の影響により、金利低下に伴う貸出金利の減少に拍車がかかっており、債券利回りも低下したため、収益の悪化が深刻化している。また、地方銀行等のフィンテックの活用に向けた取り組みが加速化しており、今後、地域における金融サービスがますます多様化していくことが見込まれるほか、金融庁が昨年秋に導入した「金融仲介機能のベンチマーク」などへの対応が求められている。

地域金融機関である信用金庫としては、様々な環境変化を見据え、持続可能なビジネスモデルの構築を目指し、信用金庫の競争力の強化と地方創生、地域活性化に努めていく必要がある。

こうしたなかで、信用金庫業界が積極的に取り組むべき課題等は次のとおりである。

1. 環境変化に対応した競争力の強化
2. 地方創生・中小企業支援に向けた取り組み
3. 経営管理態勢の充実・強化
4. 「信用金庫ブランド」の確立とイメージアップ戦略の積極展開
5. 「信用金庫人」の育成とやりがいをもてる職場環境づくり
6. 自主と協調による業界総合力の発揮

## II. 基本方針

協会は会員12の信用金庫が、信用金庫の経営理念である相互扶助を念頭に地域社会との共存共栄という原点に立脚し、常に顧客本位の経営に徹し、地域において存在感のある金融機関になることを支援する。

協会の運営に当っては、業界の3か年計画に基づき、中小企業の再生と地域の活性化に向けて、実りある1年とすることを旨とする。

特に、県内12信用金庫の業務等の共同化事業として設立した「信金静岡共同センター」での共同化事業の円滑な運用、その他の業務の共同化の実現に向けての研究を行うこととする。

また、経営管理態勢の強化と顧客の視点に立った業務運営への適切な対応を図るため、総会・理事会をはじめ各種委員会及び部会等の決議等により事業を具体化するほか、全信協、信金中金及び地区協会等各種系統機関と一層の連携を強化する。

なお、事業の基盤となる事務処理体制については、特別会計部門（信金静岡共同センター）の総務・会計業務も含め、協会の多種・多様な事業の事務処理を行っており、事務の正確性を保持しつつ、より効率的に行われるようスキルアップに努めていく。

### Ⅲ. 協会の事業

#### 1. 総会・理事会等の開催

協会の運営方針及び重要諸問題等を協議決定するため、次のとおり会議を開催する。

- (1) 通常総会は年2回開催し、6月は前年度の事業及び決算、3月は次年度の事業計画及び予算等についてそれぞれ決議をする。

また、臨時総会は緊急を要する重要な問題が生じた場合その都度開催する。

- (2) 理事会は原則として毎月1回（8月は休会）開催する。
- (3) 監査会は年1回以上開催する。
- (4) 理事長会は原則として毎月25日（平成30年1月は12日（金）、8月は休会）に開催する。

理事長会には、東海財務局静岡財務事務所長または日本銀行静岡支店長等のご臨席をいただき、時宜の卓話等をお願いする。

#### 2. 共同化事業

県内12信用金庫の業務等の共同化事業として、平成26年5月に設立した信金静岡共同センターにおいて、「手形交換等」、「手形・小切手発行」、「口座振替業務、本人確認資料のイメージ処理」の業務を受託している。

今年度は、受託業務の安定稼働と合理化を図るため、事務フローの見直しや事務ミスの削減等に努めるとともに、共同化に関わる事務処理標準化・効率化にかかる情報交換など各信用金庫との連携を強化する。また、ファイリング業務や手形小切手発行加盟金庫の増加など受託業務の拡大を行う。

#### 3. 各種委員会等の開催及び活動

協会の業務運営の円滑及び充実を図るため次のとおりの委員会等を設置し、重要案件については理事会に付議するとともに理事長会に報告する。

なお、理事会において決議された事項については迅速に実行する。

また、個別事項で専門的に研究推進することが必要な場合は、各委員会の下部組織として専門部会等を設け、その結果を委員会に報告する。

(1) 経営対策委員会

自己責任原則の経営を基本とし、業界の3か年計画の積極的な推進のほか、信用金庫の健全性、安全性及び地域に密着した経営姿勢を県民に広く周知するとともにイメージアップや金融商品のPRを図るため、テレビCM等による広報宣伝活動の一層の充実を図る。また、信用金庫の存在感をPRするためマスコミとの関係強化に努めていく。

更に、共同化事業のうち経営サイドの観点で昨年度から検討している「通帳の共同調製」の実現に向けて努めていくこととする。

委員会は、県内12信用金庫すべての参加とし原則として毎月開催するほか、専門部会を随時開催する。

なお、当委員会の専門部会は次のとおり。

- ・年金友の会専門部会・・・年4回開催。

年金受給者の取引拡大及び定着化を促進するため、会報誌「ココカラ時間」を年2回発行していく。

また、5年毎に更新している平成30年2月発行予定の「静岡県しんきん年金友の会ご案内 パート7」について、専門部会及び12金庫の担当者において作業を進めたい。

(2) 事務管理委員会

昨年は、共同化事業の更なる拡充を目的として、主に「磁気キャッシュカードの共同発行」「現金輸送の共同化」「反社検索システム」について検討を行い、このうち「磁気キャッシュカードの共同発行」については、平成28年度内に一部の金庫から順次実施することとなった。また、「信金静岡共同センター」（特別会計）での共同化事業の運営状況について確認を行った。

今年度は、各金庫の経費節減及び限られた経営資源を金庫の戦略的目標の達成への集中化を図るため、前年度からの共同化案件「現金輸送の共同化」の継続的な検討のほか、更なる業務の共同化の実現に向けて研究を継続していくこととする。

(3) 人事教育委員会

信用金庫の経営活力の維持・向上を図る最大の経営資源は人材であり、時代の変革に柔軟に適応できる人材の確保・育成と、人事管理体制の確立のための基本的共通事項について、研究及び情報交換を行う。

昨年度は、女性活躍推進法に基づき各金庫が策定した行動計画策定にあっての問題点等を踏まえ、メガバンクの先進的な取り組み事例を紹介し

たセミナーを開催した。今年度はセミナーの結果を踏まえ専門部会において女性活躍推進にかかる有効な外部講師による研修を企画していくこととする。

また、県協会主催で実施する各種研修講座の計画及び運営について議論する。このため委員会を随時開催する。

更に、「静岡大学との連携講座」の関係では、同大学が進める「地域ビジネス人材モジュール」の方針に則して、専門部会である「研修担当役席会議」の選抜メンバーにおいて従来の講座内容の見直しやインターンシップの導入に向けて同大学、東海財務局静岡財務事務所、信金中央金庫と定期的に協議していくこととする。

当委員会の専門部会等は次のとおり。

①人事担当役席会議 年1回程度開催。

・人事担当者の交流を図るとともに、人事管理問題の研究及び情報交換を行う。

②研修担当役席会議・・・年3回程度開催。

・研修担当者の交流を図るとともに、教育及び研修等の効果的な運営方策の研究及び情報交換を行う。

○ 職員研修は、次のとおり一般研修及び専門研修を13講座開催する。

講座名	開催回数	備考
初級職員講座	4回	3日・通学
中級職員講座	6回	3日・通学
上級職員講座	4回	3日・宿泊
初級管理者講座	4回	3日・宿泊
中堅管理者講座	3回	3日・宿泊
支店長研修講座	1回	3日・宿泊
テラーリーダー講座	1回	4日・宿泊
企業診断講座	3回	3日・宿泊
融資渉外講座	1回	4日・通学
内部事務管理講座	1回	3日・通学
目利き講座	1回	3日・通学
企業再生支援講座	1回	3日・通学
債権管理回収講座	1回	2日・通学
計 13 講座	31 回	

#### (4) 体育委員会

信用金庫等の相互間の親睦と役職員の健康増進を図ることを目的とし健康保険組合の後援を得て、軟式野球、テニス、卓球及びサッカーの併せて4種目の体育大会を開催するほか、東海地区協会主催の軟式野球及び卓球大会についての協力

を行う。このため委員会を随時開催する。

○県内体育大会

- ・第62回 野球大会（担当金庫 静岡信用金庫）  
日 程 5月13日(土)9時（予備日6月10日(土)）  
会 場 はましんレクリエーションセンター(予備日一同所)
- ・第51回 テニス大会（担当金庫 焼津信用金庫）  
日 程 8月5日(土)8時30分（予備日8月12日(土)）  
会 場 草薙総合運動場テニスコート（予備日一同所）
- ・第57回 卓球大会（担当金庫 三島信用金庫）  
日 程 9月2日(土)9時  
会 場 沼津市民体育館
- ・第37回 サッカー大会（決勝大会担当金庫 浜松信用金庫）  
日 程 12月2日(土)10時  
会 場 エコパスタジアム

次の地区協会主催の体育大会に代表チーム及び選手を派遣する。

- ・第60回 野球大会（岐阜県で開催 担当金庫—岐阜信用金庫）  
県大会の優勝、準優勝チームが出場  
日 程 8月26日(土)～27日(日)  
予 備 日 9月9日(土)～10日(日)  
会 場 岐阜信用金庫野球場（予備日一同所）
- ・第56回 卓球大会(愛知県で開催 担当金庫— 豊田信用金庫)  
県大会の団体の優勝、準優勝、第3位チーム及び開催県と前年開催県の4位チーム、個人戦の男女各32名以内（総数）が出場  
日 程 11月25日(土)  
会 場 豊田スカイホール

(5) 常勤監事連絡会

監事業務にかかる研究及び情報交換を行い、当該業務の的確な処理推進に資するため、年4回開催する。

4. 経営者研修等

- (1) 海外の先進的な経営やビジネスモデルを学ぶため、理事長会メンバーを原則とした海外視察を7月に実施する。
- (2) 経営者を対象とした研修会を11月に開催する。
- (3) 「静岡県信栄研究会」と合同で『信用金庫の保険の窓販等』についての研修会を開催するほか、役務取引による安定的な収益確保に資するため、保険会社等と連携して、窓販担当者を対象としたセミナー等の開催を行う。

5. 全信協、信金中金等との協調

信用金庫は相互扶助の理念に基づく協同組織の地域金融機関であり会員信用金庫の事業展開に関して、共同化による業務機能の強化及びコスト削減等を図るため、全信協、信金中央金庫、地区協会及び他地域金融機関等各種系統機関と一層

連携を強化し連帯協調体制の構築を目指す。

この他東海財務局静岡財務事務所、日本銀行静岡支店、静岡県、関東経済産業局、静岡労働局及びその他関係機関・諸団体との連絡を緊密にし、協力していく。

#### 6. 統計資料と調査活動の充実及びPR活動等

各種の信用金庫統計及び調査資料については、常に収集、調整に努め、会員信用金庫に提供する。各四半期の年4回、県内の景況について「県内12信用金庫による合同景況調査」を実施し、プレス発表及び提供要請のある行政機関（東海財務局静岡財務事務所、日本銀行静岡支店、静岡県）のほか民間の経済研究機関（静岡県西部地域しんきん経済研究所、（一財）静岡経済研究所）などにも引続き情報提供することにより信用金庫業界の一層のPRに努めることとする。

#### 7. 地域貢献活動について

地域貢献活動については、高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害防止策として、引き続き警察と連携し「預手プラン（高齢者に対する預金小切手利用の推奨）」の推進やATMでの一部振込制限などを実施していくほか、県内市町が展開する「高齢者見守りネットワーク事業」への協力や静岡県くらし環境部が展開する消費者被害啓発活動「188で見守り隊」として協力をを行う。

また、交通事故防止の取り組みである「SHINKIN370万ピカッと作戦」運動の継続実施のほか、静岡県教育委員会の「ふじのくにグローバル人材育成基金」への寄附を引き続き行い県内高校生等の人材育成に寄与することとする。

#### 8. 暴力団などの反社会勢力対策について

静岡県警察本部及び（公財）静岡県暴力追放運動推進センターなどの協力を得て暴力団などの反社会勢力対策について協議・情報交換を行う。

更に、「反社会的勢力」のデータベースについて、半期毎に更新を行う。

##### ○ 窓口情報交換連絡協議会・・・随時実施。

暴力団等に関連した不祥事件等の未然防止諸対策のために、静岡県警察本部の担当官との情報交換を実施するほか、東海財務局静岡財務事務所及び（公財）静岡県暴力追放運動推進センターの講師による講話・研修を受ける。

また、暴力団排除条例に基づく反社会的勢力の既存預金口座等の強制解約実施についての情報交換も行っていく。